●　世界の主な地震

令和８年（2026 年）10 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図１に示す。また、その震源要素等を表１に示す。

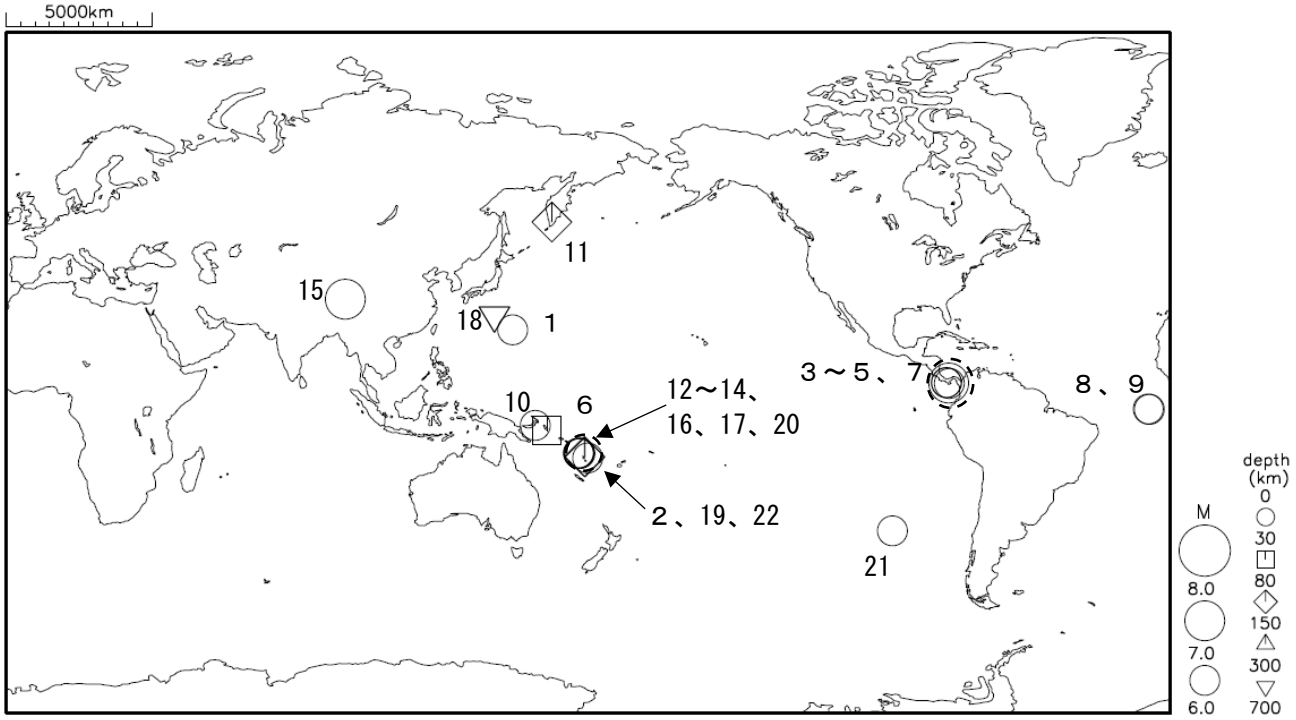


図１　令和８年（2026 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表１　令和８年（2026 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ(km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考（被害状況など）	北西	遠地
1	10月04日20時12分	N23° 36.5′	E145° 11.9′	ごく浅い		6.0		硫黄島近海			
2	10月08日18時00分	S15° 32.4′	E168° 11.3′	10			6.3	バヌアツ諸島			
3	10月10日02時56分	N 7° 35.2′	W 80° 46.1′	13			7.7_G	パナマ	死者２人など		○
4	10月10日05時25分	N 7° 42.0′	W 81° 26.6′	24			6.6	パナマ			
5	10月10日13時14分	N 7° 30.4′	W 80° 35.9′	10			6.0	パナマ			
6	10月11日23時07分	S 7° 2.8′	E155° 44.9′	31			6.2	ブーゲンビルーソロモン諸島			
7	10月13日08時20分	N 7° 42.5′	W 81° 28.2′	11			6.1	パナマ			
8	10月13日14時44分	N 0° 10.1′	W 19° 51.5′	10			6.7	大西洋中央海嶺中部			
9	10月13日21時23分	N 0° 24.5′	W 19° 25.8′	10			6.8	大西洋中央海嶺中部			
10	10月14日03時45分	S 5° 28.9′	E152° 8.1′	21			6.0	パプアニューギニア、ニューギニア東部、ニューブリテン			
11	10月16日12時35分	N51° 59.0′	E157° 16.2′	135			6.9	ロシア、カムチャツカ半島東岸		○	
12	10月19日16時49分	S14° 3.1′	E165° 40.5′	10			6.0	バヌアツ諸島			
13	10月20日13時20分	S13° 52.1′	E165° 42.7′	10			6.6	バヌアツ諸島			
14	10月20日13時20分	S13° 59.4′	E165° 35.3′	16			6.3	バヌアツ諸島			
15	10月22日23時33分	N32° 22.8′	E 93° 46.7′	18			7.0	チベット自治区	死者16人など		○
16	10月24日11時31分	S14° 3.3′	E165° 32.7′	10			6.9	バヌアツ諸島	津波観測0.06m（ニューカレドニア）など		○
17	10月24日11時35分	S14° 2.5′	E165° 51.9′	10			6.3	バヌアツ諸島			
18	10月25日11時09分	N27° 46.7′	E139° 55.7′	507		6.8	(6.5)	小笠原諸島西方沖		○	
19	10月25日11時24分	S14° 59.7′	E167° 18.2′	116			6.1	バヌアツ諸島			
20	10月28日11時21分	S13° 55.8′	E165° 26.7′	10			6.0	バヌアツ諸島			
21	10月29日16時49分	S36° 24.3′	W 98° 2.9′	10			6.4	イースター島南東方			
22	10月30日06時46分	S15° 11.3′	E167° 27.1′	143			6.2	バヌアツ諸島			

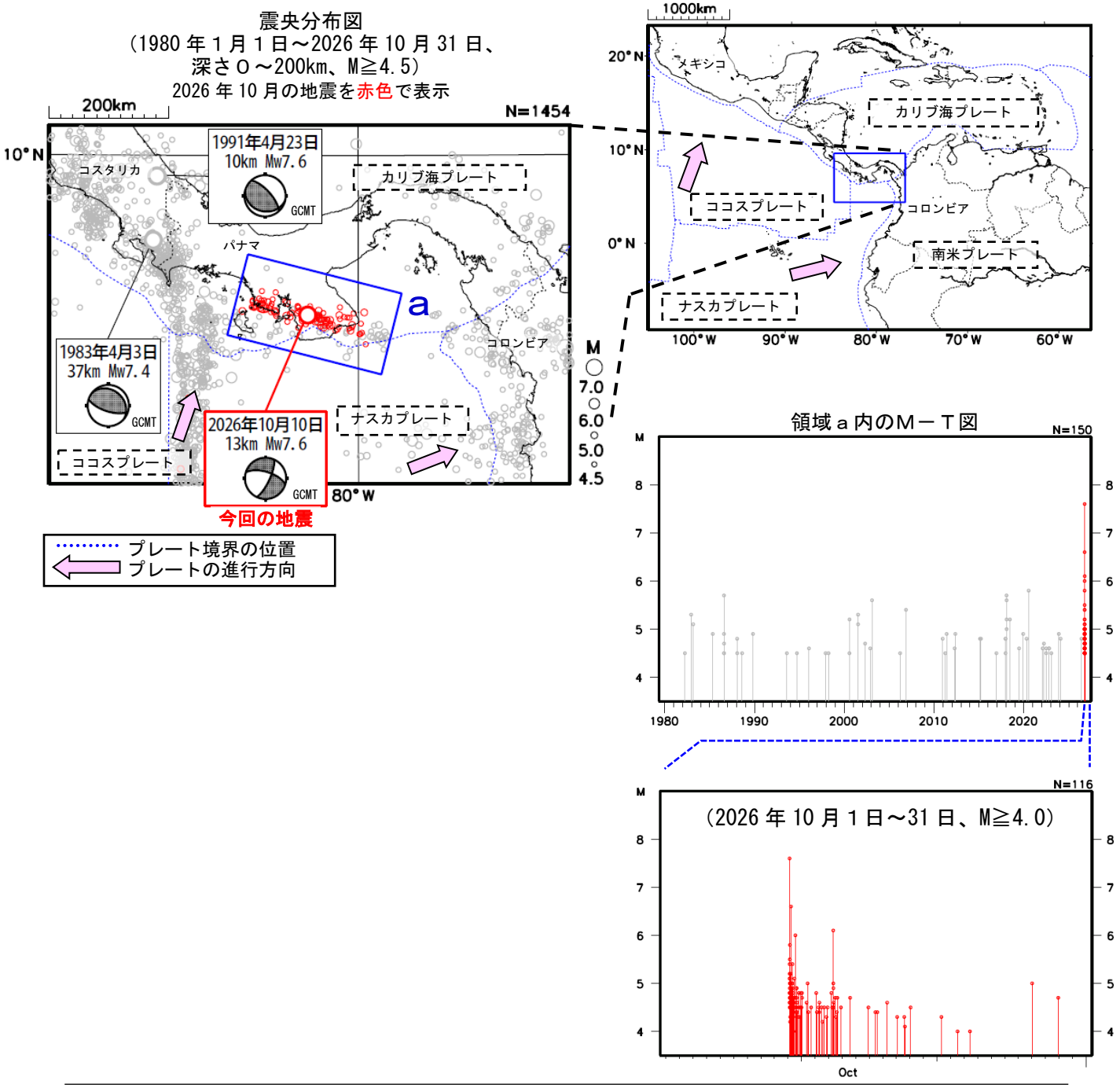
・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの”Search Earthquake Catalog”（https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/）による（2026 年 11 月４日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mw の欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMT による。
・地震の被害は OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2026 年 11 月４日現在)と中華人民共和国応急管理部（2026 年 10 月 23 日現在)による。
・地震発生時刻は日本時間［日本時間＝協定世界時＋９時間］である。
・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html）参照。
・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

気象庁作成

10 月 10 日　パナマの地震

2026 年 10 月 10 日 02 時 56 分（日本時間、以下同じ）にパナマの深さ 13km で Mw7.6（Mw は Global CMT による）の地震が発生した。この地震はカリブ海プレート内部で発生した。発震機構（Global CMT による）は、北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。気象庁はこの地震に対して、10 月 10 日 03 時 26 分に遠地地震に関する情報（日本の沿岸で若干の海面変動の可能性あり）を発表し、その後 03 時 50 分に遠地地震に関する情報（震源要素訂正）を発表した。この地震により、死者２人などの被害が生じた（2026 年 11 月４日現在）。

1980 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ａ）では M5.0 以上の地震が時々発生している。また、領域ａの周辺では、1983 年４月３日に Mw7.4、1991 年４月 23 日に Mw7.6（Mw はいずれも Global CMT による）の地震が発生している。



※震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2026 年 11 月４日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構については Global CMT による。今回の地震の被害は OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所)による（2026 年 11 月４日現在)。プレート境界の位置とプレートの進行方向は Bird(2003)*1 より引用。

*1 参考文献　Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, Geochemistry Geophysics Geosystems, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

気象庁作成